

## (12) 元江別土地区画整理事業

本地区は、江別駅の西約2.7kmに位置し、戦時中は飛行場や格納庫として軍事用に利用され、戦後は既成市街地に接する農地と沢地を含む荒廃した未利用地等であった。

しかし、市街地と対雁工業団地を結ぶ道々角山弥生(現江別インター)線の整備とともに沿道利用が活発となり、面的土地利用の転換が期待されていた。

こうした状況から、自然環境に順応した道路・公園その他の公共施設を整備改善するとともに、土地の宅地としての利用増進を図り、健全な市街地の造成を行なった。

地区の中央にある見晴台公園(近隣公園)は、対雁小学校に隣接して設置し、自然の沢地の地形を活かし、沢地沿いの樹林を残すよう造成し、緑豊かな公園として市民に親しまれている。

### 《事業概要》

施行者	組合	公共減歩率	24.9%
施行面積	56.8ha	保留地減歩率	23.5%
施行期間	昭和55～62年度	合算減歩率	48.4%
総事業費	3,248,854千円	公共用地率	25.5%
設立認可	昭和55年10月15日	都市計画道路	0.3ha (0.5km)
認可公告	昭和55年10月23日	区画道路	11.1ha (12.3km)
仮換地指定	別記	公園・緑地	3.1ha
換地処分公告	昭和61年1月20日	その他公共用地	
解散認可公告	昭和63年3月14日	保留地面積	13.2ha

※ 別記：昭和56年11月25日、昭和58年10月1日

### 《区域図》

